

1 実行性の確保

(1) 戦略推進に向けた施策・事業の展開

本県のめざす姿の実現に向け、戦略として掲げた施策・事業の速やかな具体化に取り組みます。そのため、「幸せ実感推進枠」として、4年間で総額約200億円（一般財源ベース）の財源を確保するとともに、各年度において、本戦略に基づく予算の重点化、効率化を進めることで、着実な推進を図ります。

(2) 政策評価と進行管理

本戦略の推進にあたっては、前戦略に引き続き、政策評価を活用した、計画（plan）、実行（do）、評価（check）、改善（action）のPDCAマネジメントサイクルによる成果重視の県政運営を行います。

また、戦略推進への県民の理解と信頼を深めるため、毎年度、戦略に掲げた施策等の進行管理を行うとともに、分かりやすい指標を用いて、その進捗状況を公表します。

さらに、「幸せを実感できるくまもと」の推進状況を、より分かりやすく評価していくため、「幸福量」を指標化し、更なる施策の充実、展開につなげます。

なお、戦略の推進状況や県の取組みに対する意見や提案をいただく場として、「幸せ実感くまもと4カ年戦略委員会（仮称）」を設けて着実な推進を図ります。

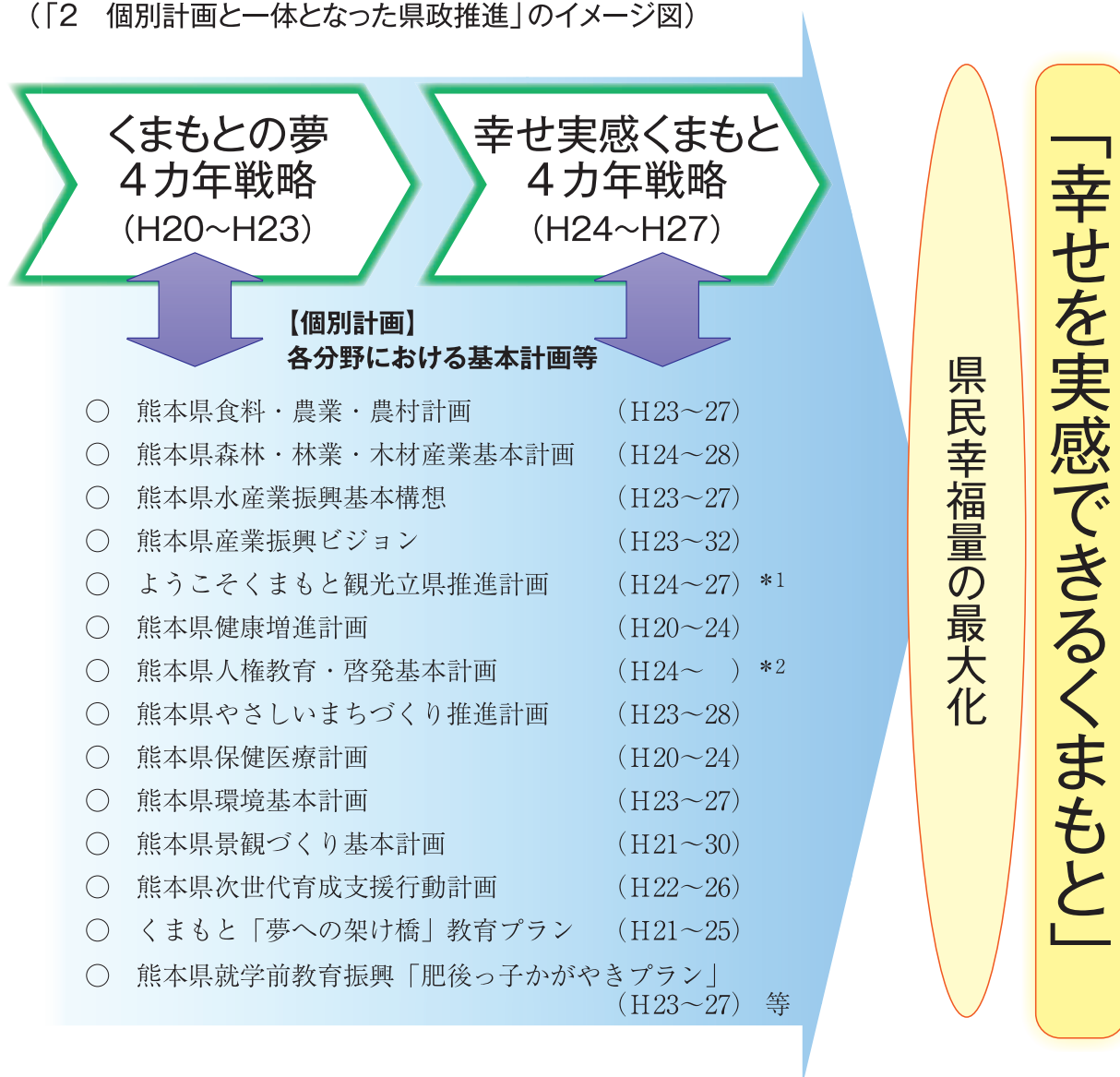
2 個別計画と一体となった県政推進

新4カ年戦略は、これまでの成果と課題、さらには本県を取り巻く社会情勢を踏まえ、「幸せを実感できるくまもと」の実現に向け、今後4年間の取組みの基本方針を示すものです。

また、県政全般にわたって、既に、県民の皆様のご意見を踏まえ、議会の議決などを経て策定された各分野における基本計画等があります。

したがって、新4カ年戦略と各個別計画とが一体となって、具体的な取組みの展開を図り、県政全体を推進していきます。

(「2 個別計画と一体となった県政推進」のイメージ図)



*1「ようこそくまもと観光立県推進計画」については、次期計画（H24~27）を6月に策定予定。

*2「熊本県人権教育・啓発基本計画」については、3年をめぐりに見直し。H24策定の現計画は第2次改訂版。

3 地域の視点に立った戦略の展開

県内どの地域にあっても幸せを実感できるよう、地域の視点に立って戦略の展開を図ります。

その際、平成23年12月に策定した「政令指定都市誕生後の県内各地域の将来像」（ビジョン）で示した地域の将来像や取組みの方向性に沿って、それぞれの地域と意見交換等を行いながら、必要とされる事業の検討やその具体化に取り組みます。

※「政令指定都市誕生後の県内各地域の将来像」（ビジョン）に掲げた地域ごとの主な取組みの方向性と「幸せ実感くまもと4カ年戦略」の各戦略との対応については、【参考2】（P75）を御参照ください。